壊れた器が蘇る「金継ぎ」

破損してしまった大事なうつわ、陶磁器や漆器、硝子器が蘇ります。
「金繕い」や「金直し」ともいい、割れた部分を継ぎ、欠けた部分を成形し、その部分に金銀の化粧を施し器を修繕する技法です。
繕いの後を新たな景色となす、日本独特の文化であり美学でもあります。本講座では更に蒔絵で繕う技法を加えて、器に新たな魅力を添えます。
うるしは本格的な「本うるし」ながら、かぶれにくく改良しています。
また、資格を取ってプロとして活躍できる道もご案内します。

破片をうるしで継ぐ
欠けている部分を成形し、凹部を埋める
凸部を削り、研ぐ
金銀のラインで繕い
絵柄を付けて蒔絵繕い

監　修　栗原蘇秀
「漆芸伝承の会主宰」「漆芸家」「ＮＨＫおしゃれ工房作家」
講　師　漆原　正
漆芸伝承の会認定講師（中部地区）
持ち物　割ってもよい練習用の陶磁器と直したい器（割れ、欠け、ひびの陶磁器）
カッターナイフ、はさみ、セロテープ、ぼろ布、楊枝、割り箸
費　用　受講料　3,850円（3.5時間）×３ヶ月で11,550円
(税込)　教材費　9,570円
筆セット　5,940円
道具レンタル　770円/月
金継ぎ道具セット　19,800円(買取り)
体験　3,080円/2時間
見　学　随時可（30分以内限定）
途中入学　随時可
１日体験講座　随時可（定期講座の後の時間帯２時間）
内　容　欠けた器を１日で金繕い仕上げます。
持参品　欠けた器（陶磁器）、はさみ、ぼろ布、楊枝、持ち帰り用の箱
受講料　2,200円
材料と道具代　3,100円
（材料＝純金泥、うるし、真綿等、道具レンタル＝ブラシ、ヘラ、手板等）

一年間のカリキュラム

1～6回は基礎編（全員一律に行う）
陶磁器の繕い
① 割れを継いで、形を復元する
② 欠けを埋めて成形する
③ ひびを補修する
④ 中塗りと研ぎ
⑤ 修繕と仕上げ

7～12回は応用編（個別に対応）
基礎編の復習
漆器の繕い
硝子器の繕い
蒔絵による繕い
共直しによる繕い

金継ぎ講座 生徒募集
（途中入学、見学可）

第2土曜日　午後1時～4時30分
第4水曜日　午後1時～4時30分

ギャラリー・ペケ
〒442-0048 愛知県豊川市開運通り 2-27-5
TEL：090- 2340-9504
ギャラリーペケ
Gallery Péquet